



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

平成25年12月

うるわし通信

良い空気を作り続けています

毎日寒い日が続きますが、大地の下では春に向けて小さな生命が着実に育まれています。私たちが休耕田などを利用して、菜の花を育て初めて早10年が過ぎようとしています。当初は有志数名からのスタートでした、産廃からの悪臭に悩まされ、健康への悪影響を怖れた人々が住み慣れた地から引っ越す家庭もあり、寂れて行くこの地をなんとかしようと、悩み考え出したのが、菜の花を植える活動でした。

菜の花は、二酸化炭素を吸収して新鮮な酸素を出してくれます。そうです良い空気を生み出してくれるのです、人は綺麗な花を見れば、感動し喜びが生まれ、元気が出てきます。沢山植えて大きな菜の花畑にすれば、多くの人が観に集まって来る。さらに菜種からは美味しい油も搾れるし、絞りがすは有機肥料として利用できます。また、驚くことに、菜の花は土壌から放射性物質のセシウムを吸収するという研究発表があり、東京電力福島第1原発事故で全村避難を余儀なくされた、福島県飯舘村で現在、実証実験が行われているということです。

平成21年の4月には歌手の加藤登紀子さんが私たちの菜の花畑を訪れられ、一緒に植えたオリーブの木は毎年立派な実をつけるまでに育っています。おかげさまで、毎年搾油される菜種油「奈乃葉菜油」は、すぐ売り切れになってしまうほど大好評です。

最初は小さかった菜の花畑も、現在は桜井市内の高家、生田、高田、狛、岩坂の各地に広がり、市内の企業や金融機関の協力もいただき、県内の同じ意思を持つグループと共に活動しています。市民としてできる小さな空気浄化活動ですが、桜井から良い空気を作り出して、奈良盆地を良い空気で埋め尽くそうと頑張っています。

桜井には耕作放棄された休耕田や畑が多数存在します、そのような土地をお持ちの方は、どうぞ私たちにお声をかけて下さい、あなたの大地から良い空気を生み出してみませんか、お待ちしております。

文責：ひがし 俊克



菜種油「奈乃葉菜油」

うるわしの桜井をつくる会の今年を振り返って

●第2回うるわしの桜井をつくる会新春交流昼食会

日時：平成25年1月26日（土）午前12時～

場所：桜井市粟殿「あるぼーる」

44名が集まり、初対面または再会に話がはずみました。



●第3回教育を考える学習会 「児童館活動をふりかえって」

日時：平成25年3月18日（月）午前10時～12時 場所：まほろばセンター 第1研修室

講師：倉田 満 氏（桜井市人権施策課主査） 主催：うるわしの桜井をつくる会：教育部会

放課後の子どもの居場所づくりは、今でも必要ではなからうかと考えました。

●桜井市図書館友の会が発足

日時：平成25年4月23日（火）午後1時～

場所：まほろばセンター 第1研修室

毎月第4火曜日に読書会を開き、前もって選定した本について自由に語り合っています。

この会には当会の教育・文化部会も連携しています。

●記念講演 「古事記を読み解く」

日時：平成25年5月11日（土）午後1時30分～

場所：まほろばセンター第1研修室

講師：浅川 肇 主催：うるわしの桜井をつくる会：文化部会

桜井にとって大和政権は何だったのか、桜井の視点からの講義でした。

●第3回うるわしの桜井をつくる会定時総会

日時：平成25年6月23日（日）午後1時～ 場所：市立纏向小学校

平成24年度事業報告と決算、平成25年度事業計画と予算が承認可決されました。引き続き、寺澤 薫 氏（纏向学研究センター所長）を講師に迎え、記念講演会を開催しました。日本の古代史はまだまだ未知の世界です。「箸墓」の発掘調査の必要性を感じました。



●前衛短歌・俳句をよむ一発想の楽しみー

日時：平成25年7月27日（土）午後1時30分～

場所：まほろばセンター第1研修室

講師：長岡 千尋 氏（談山神社宮司） 主催：うるわしの桜井をつくる会：文化部会

短歌・俳句は歴史ある伝統文化ですが、伝統に溺れない新しい発想を教えられました。

●勝利の聖建立序幕式

日時：平成25年7月7日（土）午前9時30分～

場所：桜井市相撲神社

主催：勝利の聖建立会・纏向校区区長会

共催：うるわしの桜井をつくる会

日本相撲協会理事の八角親方（元横綱北勝海）と長谷川路可（野見宿禰画作者）ご遺族の風巻氏を始め、大勢の参加者のもと行われました。



●講演会「額田王と桜井」

日時：平成25年10月20日(日)午後2時～

場所：桜井市立図書館 研修室1

講師：高城 修三 氏(芥川賞作家)

主催：うるわしの桜井をつくる会 後援：桜井・記紀万葉プロジェクト推進協議会

額田王は桜井が生んだ偉大な歌人ですが、生涯は謎に包まれています。

大和さくらい100選公開イベント

うるわしの桜井をつくる会 藤井 義晴

万葉のふるさと桜井市をもっと知ってもらおうと、桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会が「大和さくらい100選」の公募を行ったところ、市内外から約400の応募があり、同協議会が記紀万葉ゆかりの地、ビューポイント、パワースポット、食・伝統・芸能・体験の4部門に分けて選定した100選の公表イベントが11月23日(土)市立図書館にて開催され。うるわしの桜井をつくる会も受付等のお手伝いに参加しました。

当日は約120名の参加者があり、スライドショーで100選の紹介がされ、選定入選者には記念品が贈呈されました。引続き、当会堀井会長のコーディネートにより100選の活用についてパネルディスカッションが行われ、パネラーの今西将之氏(今西酒造)からは「三輪ツアー」、小川睦氏(やまとびとツアーズ)からは「やまとびと」発刊の取組みの発表がありました。その後、アドバイザーである田所瑛梨氏(奈良女子大大学院)と中谷昌義氏(桜井観光ボランティアガイドの会)と竹田勝彦氏(桜井市文化財課)による熱のこもった討議が交わされました。

桜井には、記紀万葉に係わるゆかりの地・伝承・ビューポイント・パワースポットが多くあります。記紀に伝えるところによると約1/3は桜井について記されています。又、大和朝廷を中心に13箇所の宮中伝承地、多くの万葉歌は桜井の地で詠まれ著名人により60余基の記紀万葉歌碑が残されています。一方、天神社の千年を越える精霊の宿る櫛を始め自然を大切に育てている土地柄です。

本事業を通じて全世界へ「日本の起源・桜井」を紹介し、桜井が活力ある街になる一助になればと考えています。



パネルディスカッションの様子



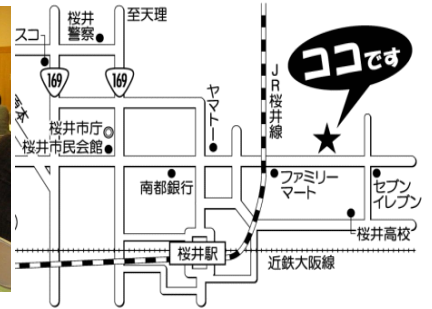
事務局だより

- 12月の常任理事会は12月21日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

第3回新春交流昼食会

大好評でした交流昼食会を来年も開催します。久しぶりの姿や相変らずの姿を見せにやって来て下さい。多数のご参加をお待ちしています。

日時 平成26年1月25日（土）正午より
場所 桜井市粟殿「あるぼ〜る」
会費 ¥3,000



お知らせ

●冬の大和さくらを巡る、宿泊ツアー

「神話の郷、知られざる大王の石室 ～いわれの里めぐり～」

平成26年2月8日（土）～9日（日） お一人様：¥23,400 募集締切日：平成26年1月17日

1日目は安倍文殊院や聖林寺にて国宝拝観。桜井に来たこともある人も楽しめる、少しマニアックな古墳も巡ります。2日目には鳥見山中霊時に登り、古事記を語る講演会（「古事記はいかに読まれてきたか」仏教大学教授 斉藤秀喜氏）を聴講いただきます。

2月8日（土）	11：15近鉄桜井駅（集合、出発）→ご昼食→安倍文殊院、周辺古墳散策→茶臼山古墳→天王山古墳石室→聖林寺→17：00頃宿泊施設着（ホテルウェルネス大和路）
2月9日（日）	9：00宿泊施設出発→山田寺跡→吉備池廃寺跡（百済大寺跡）→鳥見山中霊時、等彌神社→ご昼食→桜井市立図書館（古事記を語る講演会 約90分）→15：30頃近鉄桜井駅解散予定

主催
桜井記紀万葉プロジェクト
推進協議会
お申し込み先
やまとびとツアーズ
☎0744-55-2221



赤坂天王山古墳



聖林寺

編集後記 前号で辞意を表明しましたが、常任理事会で否決され、今後も総編集長として続行することになりました。どうも、お騒がせしてすみません。特定秘密保護法には反対です。「うるわし通信」は小誌といえども言論の自由を確保せねばなりません。また、協働するについては行政の情報公開をまだまだ求めて行きたいものです。情報を頒ち合いオープンな市政となることが市民の安心を呼ぶことと思います。（あさ）

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345